

剣道部男子団体4年ぶりの快挙!

経スポ

第62回関西学生剣道優勝大会快勝!

剣道部全日本出場!!



9月28日(日)、大阪市港区にある大阪中央体育館にて、『第62回関西学生剣道優勝大会』ならびに『第38回関西女子学生剣道優勝大会』が開催された。強豪校がひしめく中、男子団体は見事2010年度以来、実に4年ぶりとなる全日本大会出場権を獲得した。

1回戦では大谷大学と対戦し、先鋒の岡本(情報3年)が相手の出鼻を挫く鮮やかな一本を奪い、流れを作った。岡本は2013年12月に開催されたオープン大会(約700名が出場)で、強豪を次々と打ち負かし、見事個人第3位に輝いた選手である。今春より中堅から先鋒へと配置替えがなされ、結果を求めていた久野監督に対し、見事期待に応えたといえよう。その流れに乗り、次鋒の藤田(経営1年)は二本勝ちを収め、団体男子は幸先良く快勝。危なげなく初戦を突破した。

が、五将の岡(経営2年)が見事に一本勝ちを収め、悪い流れを断ち切ったかのうに見えた。しかしながら全国大会出場を狙う摂南大学も粘りを見せてまたも膠着状態に陥るが、芸術的な引き技を持つ副将の橋(人間3年)、そして抜群の安定感を誇る大將の藤野(経済3年)の両名が見事に一本を奪い、無事2回戦突破を果たした。

3回戦では前年度優勝校で今大会屈指の強豪校である関西大学と対戦した。シードされ力付的にも余裕のある関西大学に対し、本学はこの時点で三戦目。流石に疲れが見え始めた矢先、先鋒の岡本が上段で一本を奪う。その後も選手達が果敢に攻め続け、関西大学を苦しめたが、31で惜敗した。この時点で全日本大会への出場権を獲得するためには、敗者復活戦で勝利するしか、術がなくなった。

そして迎えた敗者復活戦。相手は奈良県立医科大学。徳永学長をはじめとした大学関係者、田中早苗師範他多数のOBの支援をバックに、選手全員が一丸となり「攻める」姿勢を買った結果、全ての選手が二本勝ちを収め、総取得本数14-1という大会史上稀にみる快勝となった。この結果、団体では4年ぶりとなる全日本大会出場権を見事獲得した。

11月16日(日)に開催される全日本学生剣道優勝大会では、初戦で国際武道大学と対戦するが、「攻める」

姿勢を貫き、果敢に戦いぬいてくれることであらう。

剣道部女子 団体戦初出場!

一方、今年度になり選手5名が揃った女子が初めて団体戦に出場した。初戦で強豪関西福祉大学相手に粘り強い戦いを繰り広げるも、惜しくも初戦敗退となったが、念願の団体戦出場は本学剣道部に新たな一歩を刻んだと言えるであろう。個人では主将の松下(人間2年)が過日行われた個人戦でベスト8に輝くなど、躍進著しい。女子の今後の活躍にも注目していきたい。



剣道部
VOICE

男子主将・武川幸治(経済4年) 今回全日本学生剣道大会に出場することができました。これは、自分達の力だけでなく、応援に来て頂いた皆様や、今まで稽古などをつけていただいた先輩方など、皆様のおかげだと思っております。その思いを返すためにもチーム一丸となって試合に臨み全国大会への切符を勝ち取ることができて本当に良かったです。まだまだここです。満足するのではなく、全日本学生剣道大会に向けて、今まで以上に久野監督指導のもと、稽古に励み全日本大会に出場しても恥ずかしいように頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも応援とサポートのほうをよろしくお願いします。

女子主将・松下明日香(人間2年) 今回の試合では、男子が4年振りに全日本出場することができ、とても嬉しく思います。日々の練習の成果を全日でも発揮してほしいです。女子団体戦は、全関西で初めて5人揃った出場となりませんが、一回戦、関西福祉大学と3-0で負けてしまいましたが、今年度の団体戦の試合はこれで終わってしまいました。が、しばらく個人戦が続きます。どんな試合でも上を目指し、来年、再来年、男女ともに全日本に出場できるよう、今回の試合の経験を活かし、これからの練習に励みたいと思います。

発行:大阪経済大学
スポーツ・文化振興課

経大